

ナガエツルノゲイトウ防除マニュアル

茨城県生物多様性センター
令和5年9月

目 次

1	ナガエツルノゲイトウの特色	．．．．．	P 2
2	ナガエツルノゲイトウの駆除作業時の主な注意点	．．	P 3
3	ナガエツルノゲイトウ運搬時の主な注意点	．．．．．	P 4
4	ナガエツルノゲイトウ駆除作業の実際	．．．．．	P 5
	(参考) ナガエツルノゲイトウの把握方法	．．．．．	P 8

1 ナガエツルノゲイトウの特色

(1) 拡大力・再生力が非常に強い

- 茎は1 m以上にも伸び、枝分かれも盛んなので、放置すると群落がどんどん拡大
- 根が残ると再生するため、根を除去することが重要
- 種子は作らないが根や茎の断片からも植物体が再生

(2) 拡散能力の高さ

- 茎が中空のため、水に浮く。このため、除去時の断片が水流で運ばれ、新たな地で定着・再生
- 茎がちぎれやすいため、大雨時の増水や水流により、広範囲に拡散する可能性
- 生息域の拡大阻止のため、除去作業時に、根や茎の断片まで確実に回収することが必須

可

◎ 水路を塞ぐほど繁茂した状況



◎ 一見枯れたような茎からも再生



◎ 水流に乗って拡散



◎ 陸上でも生息可能



- ・ナガエツルノゲイトウは、その再生力の強さや、拡散能力の高さから、一般の雑草と同列に扱うことはできず、特別な注意が必要です。
- ・以下に、作業時に注意すべき点を挙げますので、作業時の参考としてください。

2 ナガエツルノゲイトウの駆除作業時の主な注意点

- ・ 生長の初期、個体サイズが小さいうちの除去が有効
- ・ 茎は千切れやすく、節から活発に再生するため、破片が残らないように除去を行うこと
- ・ 除去作業現場の下流側にオイルフェンスなどを張って、下流域への茎の流出を防止
 - 網で掬い取ることも有効
- ・ 重機等に断片が付着して運ばれる可能性があるため、重機等に付着していないことを確認してから、移動させる。
- ・ 除草剤が使える場所（水田、畦畔等）であれば除草剤の使用を検討
 - 根（土中50cm以上まで伸長）や茎の断片からも再生するため、植物体全体を枯らすことが可能な除草剤が有効

◎ 除去作業状況（左：人力 右：機械）



◎ レーキ等により根も確実に除去



◎ 拡散防止措置も必要（左：たも網 右：オイルフェンス）



3 ナガエツルノゲイトウ運搬時の主な注意点

- ・ ナガエツルノゲイトウは、断片からも再生するので、刈り取ったナガエを地面にこぼさないようにすること。
- ・ 乾いた陸上でも、根付いて再生するので、ブルーシートやアスファルト等の上に置くこと。また、風等による飛散を防止すること。
 - ナガエの強さを考慮すると除去作業後、現地に保管することなく、速やかに焼却場へ運搬し処理することが望ましい。（作業前に焼却場と調整を行うようにしてください。）
- ・ 運搬に用いる車に付着しないよう荷台にブルーシート等を敷いた上にナガエを置くか、ビニール袋に密閉すること。
 - また、運搬の際に飛散しないようシート掛けをおこなうこと。

◎ 足場を設置し引き上げ助教（地面に落とさないよう注意）



◎ ブルーシートでの保管状況の例（地面に落とさないよう注意。また風等による飛散を防止することも必要です。）



◎ ビニール袋への密閉作業状況と運搬状況

- ・ ナガエが地面に落ちないようにコンクリート敷きの場所で作業
- ・ コンクリート敷きの場所がない場合、必ずブルーシート等を敷くこと



- ・ ナガエの駆除は、根も含め、できる限り全体を取ること。また、取ったナガエを水流に流したり、地面に落とさないことが必要です。
- ・ また、取ったナガエを保管する際は、定期的に現場を確認し、シートが破損してナガエが飛散していないか確認するようにして下さい。

・ 運搬車へのシート掛けの状況

4 ナガエツルノゲイトウ駆除作業の実際

○ナガエの駆除作業状況です。根の確実な除去や拡散防止、駆除したナガエの保管等について配慮が行われていますので参考にしてください。

① 手作業（レーキ）による駆除状況



足場が悪い場合、ライフジャケット等により安全を確保



駆除したナガエが下流に流れないように対策を実施



・根茎の掘り出し作業



・根茎が入り込んだ土壌の除去作業



ナガエは根の一部でも残っていると、そこから再生します。土に入り込んでいる根茎の除去作業状況です。

ナガエ駆除の各手法

②ボートを使用



③投げ込み式除草用具を使用



④フロート網を使用



⑤重機を使用



基本事項

実施場所に合わせて、手作業、ボート、重機等、複数の採取手法を組み合わせる。

上流部より除去作業を進める。植物体の断片からも再生するので、根ごと引き抜くよう努めるとともに、茎や葉などの断片も回収し、断片を拡散させないようにすることが必要です。

	駆除手法	使用条件
1	手作業（レーキ）	水深1.0m未満（足を取られやすいことに注意）
2	ボートを使用	水深1.0m以上、無風・微風時
3	投げ込み式除草用具を使用	水深1.0m以上、障害物がないこと
4	フロート網を使用	水深1.0m以上、障害物がないこと
5	重機を使用	アーム（ブーム）可動範囲の安全確保、道路使用許可

・ナガエの保管・運搬の状況

・ブルーシートの上に保管



コンクリートの上でも、ブルーシートを敷くなどして配慮。また、直ぐに移動できない場合は、飛散防止のために、上からシート掛け等が必要です。

・積み込み状況



収集車への積み込みの際は、積み残しが無いように注意することが必要です。



クレーン等を使用して収集車への積み込みこむ際も、零れ落ちた場合に備えブルーシート等を置いてください。

把握の方法

ナガエツルノゲイトウの特徴です。
判別の際の参考にしてください。
(農林水産省の資料抜粋)

同定するために注目する特徴



節から一对の葉



葉の長さは2.5~5cm、
幅は0.7~2.0cm

葉の先はややとがる



茎の中心は空洞（ストロー状）



球状花の直径は
1~1.5cmほど



1~4cmほどの
長い花柄

葉の脇から伸びる



節に短い毛

茎はなめらかでざらつかない



節からよく分枝する

- ・小さな花が集まった球状花
- ・長めの花柄がある
- ・花柄は葉の脇から伸びる

水田や畦畔などにみられる間違えやすい植物

※これらの種は特定外来生物ではありません

ツルノゲイトウ



球状花は葉の脇にくっつく
※花のない時期
は見分けが困難

アメリカタカサブロウ



- ・葉に目立つ鋸歯がある
- ・花は球状でなく平たい

タカサブロウ



- ・葉の鋸歯は不明瞭
- ・花は球状でなく平たい

スベリヒユ



- ・葉の先は丸い
- ・葉は互生（交互につく）
- ・花は黄色

シロツメクサ



- ・葉は3小葉
- ・葉に白い紋
- ・球状花の直径 2 cm